

巧妙化するサイバー攻撃から組織を守るスキルを習得する サイバーセキュリティ対策講座

主催 株式会社浜名湖国際頭脳センター
企画協力 株式会社アドウィル

昨今の巧妙化するサイバー攻撃から組織が情報通信に対する堅牢な組織防衛を行うには、即時性のあるインシデント対応能力と、持続的に予防措置を積み重ねていくマネジメント体制の確立が必須です。

本講座は、サイバー攻撃から組織を守るセキュリティのためのマネジメント体制の確立・運用と、サイバー攻撃の早期の把握・分析力を向上させるための基礎的な知識・技術の習得を目的に開催するものです。講座では、レクチャだけでなく、演習やディスカッションを交えて進めます。

サイバー攻撃から我が社を守るためのスキル習得に向け、本講座をご活用ください。



【日程・テーマ】 * 詳細および講師については、裏面をご参照ください。

	日程	テーマ
第1回	12月9日(金) 10:00-16:00	組織体質改善のためのマネジメントシステム
第2回	12月16日(金) 10:00-16:00	矛の技術1 最近のサイバー攻撃の状況
第3回	R5.1月13日(金) 10:00-16:00	矛の技術2 脆弱性の解説、パソコンの調査方法について
第4回	R5.1月27日(金) 10:00-16:00	盾の技術1 「企業の情報システムをどのようにして守るべきか？」
第5回	R5.2月10日(金) 10:00-16:00	盾の技術2 「ウェブシステムが外部から攻撃されないようにするために」

【対象】 企業の情報システム担当者・情報セキュリティ担当者
インフラエンジニア(サーバエンジニア、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア)

【会場】 第1回 クリエイト浜松 (浜松市中区早馬町 2-1)
第2回～第5回 アクトシティ浜松研修交流センター (浜松市中区中央 3-9-1)
*いずれの会場も研修用の駐車場がございませんので、近隣の駐車場または公共交通機関をご利用ください。

【定員】 15名(最少催行人数5名)

【受講料】 全5回セット 181,500円(税込) / 名(税別165,000円)
1回ごと 38,500円(税込) / 名(税別35,000円)

【その他】 ノートパソコンをご持参ください。

【お申込】 メールでお申込いただけます(裏面をご参照ください)
申込〆切 全5回セット…11月25日(金) / 1回ごと…各回2週間前
*キャンセルにつきましては、裏面「キャンセル及びキャンセル料について」をご参照ください。

【お問合せ】 株式会社浜名湖国際頭脳センター 担当:米良(めら)・佐藤
TEL:053-416-4002 / Mail:jinzai@hamanako.co.jp

[カリキュラム]

内 容	講師
第1回 組織体質改善のためのマネジメントシステム (12月9日(金) 10:00~16:00) 情報資産の価値や脅威、脆弱性などリスクアセスメントの基礎知識からISO(国際標準化機構)が提唱する情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)やITサービスマネジメントシステム(ITSMS)、BCP(事業継続計画)の国際規格であるBCMSなどのマネジメントの確立と運用事例を詳しく解説します。	長谷川孝博氏
第2回 矛の技術1「最近のサイバー攻撃の状況」 (12月16日(金) 10:00~16:00) IPA(情報処理推進機構)が毎年発表する「10 大脅威」の解説から、最近のサイバー攻撃のグループや攻撃内容の動向、違法なアクセス先であるダークウェブの状況について解説します。また、一般に公開されている情報源からアクセス可能なデータを収集、分析する「OSINT」情報の活用についても触れていきます。	但野 正行氏
第3回 矛の技術2「脆弱性の解説、パソコンの調査方法について」 (1月13日(金) 10:00~16:00) Webアプリの脆弱性について解説するとともに、脆弱性である状況を体験し、また、パケット取得・プロトコル解析ソフト「Wireshark」で、実際の通信状況の確認を行っていきます。さらに、Window/Linux での各種ログとその調査方法についても学びます。	但野 正行氏
第4回 盾の技術1「企業の情報システムをどのようにして守るべきか？」 (1月27日(金) 10:00~16:00) 守ることは攻撃するよりも難しいと言われる。企業の情報システムは様々な脅威にさらされ、これらの防御は喫緊の課題となっています。講師が10年以上にわたり上場企業の情報システムをコンサルティングしながら設計・構築をしてきた経験を元に、崩しにくいシステムの設計を規模ごとに説明し、さらに「ゼロトラスト」の善し悪しについても解説していきます。	瀧 康史氏
第5回 盾の技術2「ウェブシステムが外部から攻撃されないようにするために」 (2月10日(金) 10:00~16:00) Webシステムはサービスの入り口となって久しいですが、セキュリティホールが原因でサービス廃止を余儀なくされた事例が多々あります。講師のWebシステムを設計・構築してきたノウハウから、堅牢で情報漏洩しにくいシステムはどのように作るべきかを、流行のクラウドネイティブまで含めて解説していきます。	瀧 康史氏

* 内容が変更になる場合があります

[講師]

長谷川孝博 氏 (国立大学法人静岡大学 情報基盤センター長/静岡大学 CISO/教授)

静岡大学情報基盤センターにて2005年より専任教員を務め、2015年に静岡大学CISO就任、2019年情報基盤センター長に就任する。ISMS(初認証2003年)やITSMS(初認証2013年)を、大学の大規模ネットワークと多種に亘る全学情報サービスの提供部署である情報基盤センターで確立し、運用を続けている。

但野 正行 氏 (株式会社 Geolocation Technology フェロー)

2018年1月に(株)Geolocation Technology 入社。同年9月、取締役 CTO 技術開発部部長に就任。2022年9月末に同役職を退任後、技術分野のフェローとなり、主にサイバーセキュリティに関する業務や新技術の調査を担当する。

瀧 康史氏 (テラクラウド株式会社 代表取締役社長)

2001年にソニーコンピュータエンタテインメントを退職し、(有)ジャストプレイヤー(現テラクラウド(株))を設立。インターネットを利用した配信システムや認証システムなどを元にソフトウェアを預かり利用してもらうモデル(=クラウドビジネス)で起業した。2014年現社名と同名の国産オンラインストレージサービス「TeraCLOUD」を立ち上げ、基本設計から開発まで着手。その他にもプライベートクラウド、ネットワーク、ストレージを統合したサービスを運営し、また、10年以上にわたり上場企業の情報システムをコンサルティングしながら設計・構築も共にし、現場と経営層を繋ぐ役割も担う。2021年から静岡県警察「サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー」を受嘱している。

【お申込方法】 申込〆切:全5回セット…11月25日(金) / 1回ごと…各回2週間前

■送信先 jinzai@hamanako.co.jp ■件名 「サイバーセキュリティ講座申込」

メールに以下をご記載の上、お送りください。

- (1) 貴社名
 - (2) ご住所 (郵便番号)
 - (3) ご担当者 お名前(ふりがな) / 部署・役職 / 電話番号 / メールアドレス
 - (4) 受講者 お名前(ふりがな) / 部署・役職 / メールアドレス / 申込形式: 全5回セットまたはご希望回
- * 受講者が複数名いらっしゃいましたら、人数分ご記載ください。
* 受講者とご担当者が同じ方でしたら、その旨ご記載ください
* お送りいただいた情報は、本講座のご連絡のほか、今後の情報提供で利用する場合がございます。



キャンセル及びキャンセル料について

- ・キャンセルされる場合には、講座開催日(複数日開催の場合は開始日)10日前の17:00までに、メールまたはお電話でご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、原則として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・受講者の変更は、キャンセル料は発生いたしません。